

一級河川鳴瀬川水系 南川 南川ダムの効果(平成28年8月23日)【速報】

宮城県

○南川ダムでは、平成28年8月23日の低気圧に伴う降雨により、**流域平均の累計雨量が35mm、最大時間雨量では10mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画460m³/sに対し、**26.35m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の96.9%(m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



南川ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	23日 18時 0分	終了	23日 20時 10分
・ダム流域累計雨量	35 mm	(23日 14時 ~ 23日 21時)	
・最大時間雨量	10 mm	(23日 16時 ~ 23日 17時)	
・ダムへの最大流入量	26.35 m ³ /s	(23日 19時 0分)	
・最大流入時の放流量	0.83 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	25.52 m ³ /s	(約 96.9%)	

ダムの状況写真



貯水位 97.75m

(洪水後 8月24日 9時50分)

南川ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 96.9% をダムに貯留しました。

最大流入時の放流量
0.83 m³/s

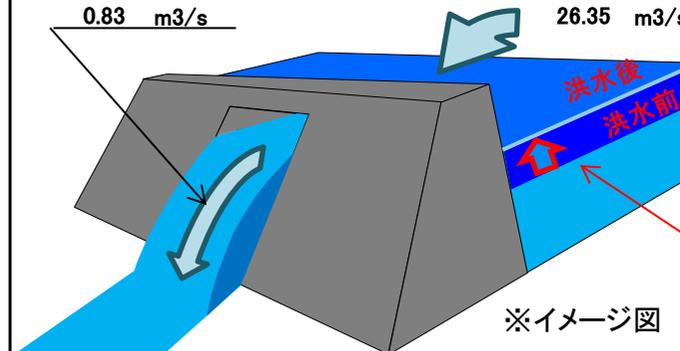
最大流入量
26.35 m³/s

洪水調節開始時の貯水位
93.13 m

洪水調節時の最高貯水位
93.37 m

最大貯留量
4,252 千m³

0.24 m上昇



※イメージ図

○南川ダムの洪水調節等により、この落合地点で、**水位を約0.42m低減させる効果**があったものと推測されます。

下流河川の状況写真

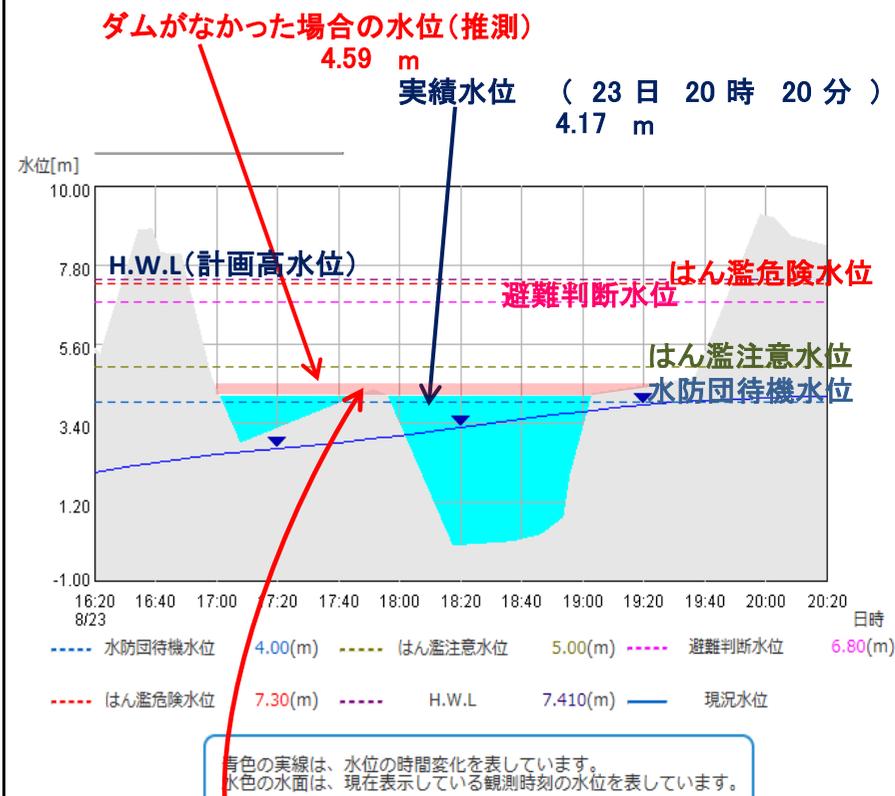


ダム下流河川 南川(洪水後 8月24日 9時20分)



ダム下流河川 魚板橋(洪水後 8月24日 9時20分)

吉田川(落合地点)の水位低減効果



ダムにより約0.42mの
水位低減効果を推測